

## 試験研究成果普及情報

部門	野菜	対象	普及
課題名：秋どりエダマメの優良品種の選定（第 66 回千葉県野菜品種審査会）			
〔要約〕 8 月上旬播種の秋どりエダマメ栽培に適する早生・中早生の優良品種は、「おすすめ」（横浜植木（株））、「初だるま」（カネコ種苗（株））、「サヤムスメ」（雪印種苗（株））である。			
キーワード エダマメ、秋どり栽培、品種比較、品種審査会			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 野菜研究室 協力機関 日本種苗協会千葉県支部、（公社）千葉県園芸協会、 生産振興課		
実施期間	2018 年度		

### 〔目的及び背景〕

千葉県のエダマメは、東葛飾地域等の都市近郊を中心に栽培が多く、ハウス栽培やトンネル栽培等の栽培方法と品種を組み合わせることにより、2～10月と出荷期間が長く、市場で高い評価を得ている。近年、秋どり栽培において早生・中早生品種を用いて栽培期間を短くし、作付体系に組み込む事例が増えつつある。しかし、この作型は低温期に向かう作型のため播種時期と品種選択が収量に及ぼす影響が大きく、作型に適応した優良品種の選定が重要である。そこで、秋どり栽培において収量性、莢品質等が優れた早生・中早生品種を選定する。

### 〔成果内容〕

- 1 第 66 回千葉県野菜品種審査会において審査した 10 品種のうち、入賞となった品種は「おすすめ」（横浜植木（株））（写真 1）、「初だるま」（カネコ種苗（株））、「サヤムスメ」（雪印種苗（株））の 3 品種である（表 1）。
- 2 入賞品種の出芽はいずれも良好で、8 月 7 日播種における開花期は 8 月 30 日～9 月 2 日である（表 2）。
- 3 「おすすめ」は多収で 1 莢重が重い。また、主茎が太く倒伏しにくい。「初だるま」は他の入賞 2 品種より開花がやや遅いが、1 次分枝が多く株張りが良い。また、多収で可販莢率が高い。「サヤムスメ」は多収で 1 莢重が重い（表 3、表 4）。

### 〔留意事項〕

本試験は平成 30 年の 1 か年のみの結果であり、定植前後及び開花期の平均気温は平年より高く推移し、栽培期間中に台風が 2 度（21 号及び 24 号）通過した気象条件での試験成果である（図 1）。

[普及対象地域]

県内のエダマメ産地

[行政上の措置]

[普及状況]

秋どり栽培は東葛地域のエダマメ産地において取り組まれている。

[成果の概要]

表1 第66回千葉県野菜品種審査会（秋どりエダマメ）審査結果

順位	審査 番号	得点				品種名	会社名
		立毛	収穫物	食味	合計		
1	7	64.2	83.4	15.2	162.8	おすすめ	横浜植木（株）
2	2	66.1	80.8	15.6	162.5	初だるま	カネコ種苗（株）
3	10	65.0	81.1	15.4	161.5	サヤムスメ	雪印種苗（株）

注1) 配点は、立毛審査80点、収穫物審査100点、食味調査20点、計200点

2) 食味調査に供したサンプルは、食味審査用区画から10月9日、10日にサンプリングし、収穫当日に0.5%食塩水で3分間茹でた。加熱終了後速やかにアルミ製バットに広げ、常温まで冷まし、冷凍保管した。審査会前日に冷蔵庫へ移動して解凍を開始した

3) 平成30年8月7日播種、8月14日定植、10月12日審査

4) 1区2.9m<sup>2</sup>、2反復、栽植密度畝幅160cm、株間15cm、2条植、施肥成分量10a当たり窒素3kg、リン酸10kg、加里10kg、定植後から審査当日までワリフによるトンネル被覆を行った



写真1 「おすすめ」（審査番号7）

表2 出芽率及び開花期

審査 番号	出芽率 (%)		開花期 (月日)
	播種箱	室内	
7	98	89	8月30日
2	97	98	9月2日
10	99	97	8月30日
1	98	100	8月31日
3	93	100	9月2日
4	99	95	9月7日
5	98	80	9月3日
6	82	81	8月30日
8	99	98	8月31日
9	100	100	8月31日

注1) 播種箱は播種7日後(8月14日)調査

2) 室内は9月4日に各品種50粒、2反復播種、25℃一定

3) 開花期は調査株の50%以上が開花した日

表3 秋どりエダマメの収穫時の生育

審査 番号	品種名	主茎長 (cm)	主茎 節数 (節)	主茎径 (mm)	1次 分枝数 (本)	止葉			倒伏 程度
						葉身長 (cm)	葉幅長 (cm)	葉柄長 (cm)	
7	おすすめ	22.1	8.3	8.2	4.1	13.4	7.7	21.1	1.0
2	初だるま	23.3	9.5	6.5	5.5	12.1	6.2	21.3	1.8
10	サヤムスメ	22.0	8.8	6.9	4.9	11.7	6.3	19.4	1.3
1		17.5	8.5	6.6	5.3	10.1	5.8	16.7	1.0
3		18.9	8.5	6.2	4.5	11.1	6.3	17.7	1.3
4		26.3	10.1	5.7	3.8	12.0	6.6	24.4	3.3
5		21.7	9.5	6.1	4.4	9.8	5.9	18.4	1.3
6		12.9	7.7	5.7	3.8	9.8	6.4	15.5	0.5
8		16.4	8.1	5.4	4.2	10.2	5.8	16.4	1.3
9		20.5	8.3	7.6	4.8	11.1	6.5	18.6	1.0

注1) 各区10株、2反復調査、主茎径は初生葉下の節間を測定

2) 倒伏程度は、0：無～4：甚で評価した

表4 秋どりエダマメの収量

審査 番号	品種名	総収量		可販収量		可販 莢率 (%)	可販 1莢重 (g)	平均 粒数 (粒/莢)
		莢数 (千個/10a)	重量 (kg/10a)	莢数 (千個/10a)	重量 (kg/10a)			
7	おすすめ	377	897	205	636	54.3	3.1	1.9
2	初だるま	340	782	226	623	66.5	2.8	2.0
10	サヤムスメ	354	796	186	560	52.5	3.0	1.9
1		321	686	185	501	57.8	2.7	1.8
3		330	713	220	580	66.5	2.6	2.0
4		370	669	230	509	62.3	2.2	1.8
5		332	842	219	689	66.0	3.1	1.9
6		341	777	220	631	64.6	2.9	2.1
8		349	652	207	497	59.4	2.4	2.0
9		342	789	193	570	56.4	3.0	1.9

注1) 可販収量は、4粒莢、3粒莢、2粒莢の合計。重量は莢実重量

2) 平均粒数は、1～4粒莢の粒数の平均

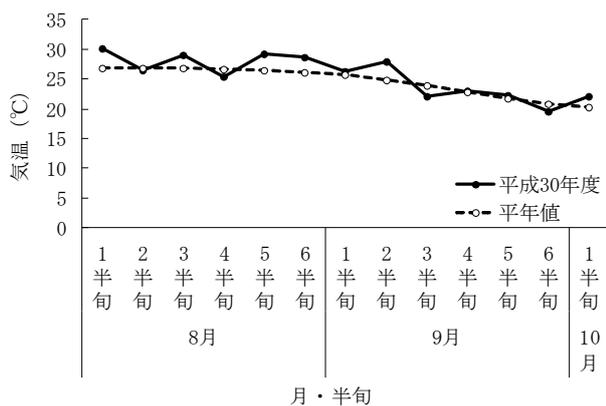


図1 栽培期間中の半旬ごとの平均気温

注) 千葉観測所アメダスデータ

[発表及び関連文献]

令和元年度試験研究成果発表会（野菜部門）

[その他]